

## 第 24 回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

### 1. 開催概要

□開催日時：令和 5 年 9 月 4 日（月） 13：00～

□開催場所：国土交通省長野国道事務所会議室

□議事次第

- 1 開催あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 議事
  1. 長野県における交通渋滞対策について
    - (1) これまでの検討状況及び今回の議題
    - (2) 長野県の交通量の変化について
    - (3) 主要渋滞箇所のモニタリングについて
    - (4) 主要渋滞箇所の解除について
    - (5) ピンポイント渋滞対策について
    - (6) TDM について
  2. 長野県における交通事故対策について
    - (1) これまでの取り組み経緯
    - (2) 長野県内の幹線道路交通事故対策
    - (3) 生活道路等への取り組み
    - (4) 通学路への取り組み

### 2. 質疑応答：長野県における交通渋滞対策について

■ ：説明・意見・質問・要望

➤ ：回答

#### (4) 主要渋滞箇所の解除について

【委員】

- p.12 の解除ルールのフローについて、前回の委員会のご意見を踏まえて、「継続監視」とした部分の表現を変更した。

【一同】

- 変更案について了承。

**【委員】**

- ルール3の指標をクリアする琴平町交差点については、前回の委員会で解除を保留としたが、交通量調査を行った結果、渋滞していないことが確認した。また、道路管理者及び関連自治体から「渋滞は発生していない」という回答をいただいたことから、「解除」を提案したい。

**【委員】**

- 琴平町交差点については渋滞が確認されていないので、「解除」が良い。

**【一同】**

- 了承。

**【委員】**

- ルール3の指標をクリアする羽場交差点については、交通量調査の結果、渋滞が確認されていることから、引き続きモニタリングとしたい。

**【一同】**

- 了承。

**(5) ピンポイント渋滞対策について**

**【委員】**

- 村井下町北交差点は、用地買収を伴わない対策として、右折レーンの停止線前出しを行ったが、本対策により右折滞留長が1台分増加する程度であるため、抜本的な対策ではない。よって本交差点については、引き続きモニタリングとしたい。

**【委員長】**

- 村井下町北交差点の対策前後で信号サイクル長に変更はないか。

**【事務局】**

- 対策前後で、信号サイクル長に変更はなかった。

**【委員】**

- 今年度、ピンポイント渋滞対策工事を行う杭瀬下交差点については、右折レーンを新設する予定である。対策完了後、効果検証の結果は改めて報告する。

**(6) TDMについて**

**【松本市】**

- 昨年度ご協力いただいた企業に加えて、新規の企業に参画をご依頼することで拡大化を図っている。
- その他にも、個別の企業だけではなく、ロータリークラブ等の団体にも依頼している。

【委員長】

- 時差出勤は企業が就業時間を早めるような取組みをしているのか。

【松本市】

- 企業の中で協力いただける方が取組まれている状況である。

【委員長】

- 企業自身で取組んでいる割合はどの程度か。

【松本市】

- 企業自身で取組んでいる割合は把握できていない。

(参考) 主要渋滞箇所以外について

【委員】

- 主要渋滞箇所以外（四ッ谷東交差点、平原交差点）の紹介については、現在の主要渋滞箇所は H24 年に選定されたものであり、交通状況の変化のなかで、改めて指標に合致する箇所が出てきている状況である。また、地域からの声も上がっている状況である。
- 道路管理者としては、そのような箇所に目を向けていく必要性を感じている。その上で、場合によっては、主要渋滞箇所の追加等も調整していくことがあるかもしれない。

【委員長】

- 本日頂いた意見を事務所にまとめてもらい、委員長に報告頂きたいと思います。

【一同】

- 了解した。

### 3. 質疑応答：交通事故対策について

- =説明・意見・質問・要望
- =回答

#### (2) 長野県内の幹線道路交通事故対策

##### 【委員】

- 総合評価フローの見直し案は、区間全体での事故件数が3割削減しているか評価している。交通量が少ない箇所は事故1件の重みが異なるため、箇所によっては地域の状況に応じて、本委員会にて個別の議論をしたいと考えている。

##### 【委員長】

- 総合評価フローの見直し案は承知した。統一的な指標として台キロ当たりの事故件数を評価することになるが、偶発的な事故であるかの評価が難しいと考えている。統一的な指標で評価できない個別の事例は、本委員会の場で継続して議論すること。

##### 【一同】

- 了承。

##### 【委員】

- H22 事故危険区間の評価待ち区間のうち、対策完了から4カ年のデータが蓄積された須原交差点は、地域の意見確認結果はあるか。

##### 【事務局】

- 本日の委員会資料は、事故データに基づいた評価結果である。今後、地域の意見を確認する。

##### 【委員長】

- 当該交差点の評価は、地域の意見確認結果を踏まえて審議する。

##### 【一同】

- 了承。

#### (参考) 長野県内の最新の交通事故状況等

##### 【委員】

- 一般国道19号長野市信州新町上条地先は、事故危険区間の指標に該当しないが、1区画分の歩道が途切れており、歩行者が路肩を歩くことになる。当該箇所の周辺には、バス停もあり、数字には表れにくいですが、ピンポイントでの対策が必要と考えている。こういった箇所に対する対策にも目を配る必要がある。

**【委員長】**

- 交通事故対策の観点として、未然に防ぐことは重要である。総合評価フローでは、事故が発生した箇所が対象となる。今後、こういった箇所が出てくる可能性がある。誰がみても危険と考えられる箇所は、このような場で紹介して行ってほしい。

**【委員】**

- 事故対策を行うことで、通過速度が低下することを実感した。対策検討・実施していただき、大変ありがたいと感じた。

**【委員長】**

- 本日の意見を踏まえ事務局で検討し、その検討結果は委員長に一任を願い、個別箇所の調査結果をもって、継続して議論すること。

**(参考) 公表資料の訂正について**

**【事務局】**

- 第20回～第22回資料で、数値に誤りがあった箇所について、修正版の資料をHPに掲載することを事務局より報告した。

**【委員長】**

- 了解した。

会議状況写真

